

中国語における女性差別的表現

李 奇楠

1. はじめに

1949年新しい中華人民共和国が設立されて以来、政府側は男女平等運動を意識的に繰り広げ、女性の社会的地位が飛躍的に向上したと言えるであろう。それは男性と同じように教育を受ける権利を得られたことや、女性の社会進出の度合いがかなり進められてきたことなど社会生活のさまざまな面に現れている。

しかし、中国では封建社会の長い歴史が続いたため、女性蔑視の社会通念の影響も多かれ少なかれ残っている。

それは現実的には女性が男性より就職が難しいことや男女定年年齢の不平等など日常生活の諸側面に反映されている。以下、ことばを中心に、中国語の中の女性差別的な現象を考えていきたいと思う。

2. 「女」がつくことば

まず「英雄」ということばだが、その概念自体は男女を問わず、ふつう「大衆の利益のため特に貢献した人」(『現代漢日辞海』)を指している。だが、中国語では男性の英雄を指すばあい、そのまま「英雄」を使っているが、女性の場合、ふつう「女英雄」あるいは「巾帼英雄」(「巾帼」とは、昔の女性が頭に飾った頭巾のこと。その派生義として女性を指すようになった。)と呼ばれている。言い換えれば、「女英雄」あるいは「巾帼英雄」という呼称のペアになるはずの「男英雄」あるいは「須眉英雄」(「須眉」とはひげと眉を指すのであるが、そこから意味が拡張して、男子を指すようになっている。)と呼ばれることは中国語ではないのである。

また「英雄出少年(英雄は少年から出る)」「英雄難過美人関(英雄は美人の関所は越えがたい。英雄も女には弱い。)」など中国語の「英雄」関連の諺からも分かるように、「英雄」は男性に限るという思考パターンになっているよ

うである。そのような立派な人物が女性である場合、例外視され、ことばの表現も「英雄」の前に「女」がつくようになったのであろう。これは明らかに男性より女性のほうが軽く見られている証拠といえよう。

上述の「女英雄」類のことばは他にも数多く存在している。たとえば下記のような言い方がある。

例(1) 女経理(女性社長)⁽¹⁾、女記者(女性記者)、女科学家(女性科学者)、女博士(女博士)、女校長(女性校長)、女部長(女性部長)、女総統(女性大統領)、女強人(強い女性)……

上記それぞれ括弧の中の日本語訳からも分かるように、日本語にも似たような言語現象がよく見られるのではないかと思う。たとえば、最初の女経理(女社長)の例だが、『女社長に乾杯!』という題名の日本語の小説があったと記憶している⁽²⁾。社長が男性なら、おそらく「男社長」とわざわざ言わないと思うが、社長が女性の場合、「女社長」と呼ばれるのはなぜであろうか。おそらく今まで中国でも日本でも「経理(社長)」になる人は男性が圧倒的に多かったからであろう。女性の社会進出につれて、管理職に就く女性や、ジャーナリストや科学研究など従来男性しか携わっていなかった分野にも入る女性が出てきたので、その女性たちを呼ぶために、本来男女の別がないはずの職名の前に「女」が接辞のように置かれ使われているのであろう。日本ではこのような表現が女性冠詞と言われ、新聞などでの使用を問題視する傾向が出てきているのである⁽³⁾。

例(1)の「女経理」などの各語に関する実際使用例を示すと以下のような。(下線は李、以下同様)

例(2) 男人们不相信一个女教授也可以做一手好菜，一位女经理也可以是一位慈爱的妈妈，一位女科学家也不乏生活的情趣……（女性教授もいい料理が作れるし、女社長も優しいお母さんでもあり、女性科学者も生活の情趣に富んだ方でもあるということは男たちは信じていない。……）
2007/6/4『中国青年報』

例(3) 中国嘉賓通常會在女官員、女企業家、女學者、女明星面前遵循女士優先原則，却不理會女翻譯、女導遊、女陪同、女記者等。(中國的貴賓是通常、女性官吏、女性企業家、女性學者、女性スターの前ではレディーファーストという原則に従い、女性通訳者、女性ガイド、女性案内者、女性記者に対してはその原則を無視するのである。)

2007/9/14『国際先駆導報』

例(4) 高校博導帶一群女博士成為常見風景線，……(大學院的博士課程的指導教授が数多くの女博士を指導することはよく見られる風景になっている。……)

2007/9/27 <http://npc.people.com.cn/GB/6320577.html>

例(5) 哈佛有了第一位女校長，在此之前，其法學院院長、研究生院院長、設計學院院長都是由女性擔任。(ハーバードでは最初の女性学長が生まれた。これまで法學院院長、大學院院長、デザイン學院院長のポストには、どれも女性が占めたことがあった。)

2007/7/16 <http://leaders.people.com.cn/GB/5989123.html>

例(6) 女性部長和總理已經不是新聞，繼象征性的女王之外，出現有實權的女性總統恐怕也會在不遠的將來。(女性部長と女性總理はもうニュースではなく、象徴としての女王以外に、實際權利を持つ女性大統領が現れるのもそう遠くない将来であろう。)

2007/7/16『中国青年報』

さらに、例(1)の最後に挙げている「女強人(強い女性)」に対して、「男強人」という用法が中国語にはない。「她是一名堅強的女性(彼女は強い方である)」、「他是一名堅強的男子(彼は強い方である)」にある「堅強的女性(強い女性)」「堅強的男子(強い男性)」のような連体修飾表現と違い、「女強人」という言い方はむしろ一つの熟語のようなことばで、「女」と「強人」は分離できないのである。男性でも女性でも強い人がいて「女強人」があるのに、「男強人」はなぜ言わないのであろうか。これはふだんよく使われている表現「女人，你的名字是弱者。(女よ、汝の名前は弱者なり。)」と社会通念的には同

じだと認めざるを得ない残念な事実だと思う。例えば次のような「女強人」の例がある。

例(7) 有中国“铁娘子”之称的国务院副总理吴仪今天落泪了。这位常将“小女子有泪不轻弹”挂在嘴边的政治女强人，在参加十七大福建团讨论时，倾听基层代表发言时两度潸然泪下。(中国の「鉄女」と呼ばれる国务院副总理吳儀女史は今日涙を流した。「女性は涙があっても容易に流さない」と常に言うこの政治女強人は、党の第十七回大会の福建組の討論に参加したとき、地域代表の発言を聞いて二度もさめざめと泣いた。)

2007/10/16 <http://politics.people.com.cn/GB/1024/6382742.html>

3. 女性に関する表現

現代中国語では、女性のことを指すとき、極めてマイナスのイメージの強い語を用いる場合がある。たとえば、「長舌婦」は「よく人の悪口を言う女、おしゃべり女」を指している。そのような性質を持つ男性はどう呼ばれるかというと、「長舌婦」に対応する「長舌男」あるいは「長舌漢」のような言い方は見当たらない。「母老虎」、「母夜叉」なども女性を罵るため特別用意されたことばである。「母老虎」は「あばずれ女、気性の荒い女性、悍婦」の意味で、「母夜叉」は「顔が醜く、凶悪な女性」を指す。これは「女性は美しい顔立ちをし、性格が優しい」というきれいで、従順な女性像の反面の性質の持ち主である女性を呼ぶことばであり、顔がきれいではなく、個性が強い女性への抑圧的なショックを与える差別的用語にもなっている。最近のこれらの語の使用例として以下のようなものがある。

例(8) 现实之中，有的家长的确过于唠叨，这种环境长大的孩子，男孩对别人的啰嗦过于敏感，女孩则成为长舌妇。(現実にはうるさい親が確かにいるのである。その環境で育った子供は、男の子の場合、他人のしつこさにすごく敏感になり、女の子なら長舌婦になる。)

2006/4/26 <http://edu.people.com.cn/GB/8216/4330405.html>

例(9) 在CDTV-2 热播的《女人心事》中，陈小芸扮演的女强人给人留下“母老虎”的深刻印象。(CDTV-2 で放映されている大人気の『女性的心配事』では、陳小芸が演じている強い女性は人々に「母老虎」という深い印象を与えている。)

2007/5/18 <http://ent.people.com.cn/GB/42075/81374/5748660.html>

例(10) 青少年是祖国的未来，是社会的希望。如果每个孩子都似打人少女一副凶神恶煞、蛮横无理的小母夜叉形象，希望从何而来，未来将会怎样？（青少年は祖国の未来であり、社会の希望である。もしどの子ども人を殴ったあの少女みたいに殺人鬼のような横柄で理不尽な小母夜叉であったら、希望はどこから来るのか。未来はどうなるのであろうか。）

2007/7/26 <http://opinion.people.com.cn/GB/6036164.html>

そのほか日常生活の中で俗語的によく使われている言い回し、たとえば「女人頭髮長，見識短（女性は髪の毛が長く、見識に乏しい）」という表現も、女性は見識が低いということを女性の一般的特徴として捉え、女性のことを低く評価しているものである。

また、昔からの言い回しで今でも残っているものに次のような諺がある。「嫁出去的女兒，澆出去的水（嫁に行った娘は撒いてしまった水。）」、「嫁鸡随鸡，嫁狗随狗（ニワトリに嫁したら、ニワトリに従え。犬に嫁したら、犬に従え。）」、「男主外、女主内（男女共にそのもっぱらつとめる分野がある。男子はつねに外におり、女子はつねに内にいる、その別を明らかにすること。）」などなど。その意味から分かるように、どれも女性の価値の低さ、女性の従属的地位を強調している表現である。これらはいずれも正式な場では使われないが、現在日常生活の中でも俗語的に使われていて、時々耳に入ってくる。

「人老珠黄」という四字熟語があり、それは「女性が年をとるということは、真珠が黄色くなり価値を失ってしまうようなものだ」という意味である。男性も女性も年をとるのは自然の法則なのに、なぜその「人老珠黄」の「人」は女性だけに限定するのであろうか。これは内面の価値より表面の容貌だけ

を女性の価値としている従来の世間一般の古い認識によるものだと思う。これらのことわざや成句も実際の使用例を示すと以下のようなものがある。

- 例(11) 男人总喜欢说, 女人头发长见识短, 女人最不爱听的就是这句话, …… (男性は女人頭髮長, 見識短と言うのが好きだが、女性是这样いう発話を聞くのがいちばんいやなのである。……)

(2007/2/1『江南時報』)

- 例(12) 调查中, 有“女客”向记者反映, 一些受访的“男户”态度鲜明: “只有一锅粥, 你多舀一勺我就少喝一口。嫁出去的女儿泼出去的水, 已经寻了婆家, 凭啥还到娘家门上争吃喝? ……” (調査のとき、ある「女性客」が記者に次のようなことを報告した。一部分のインタビューを受けた「男性主人」は態度がはっきりしていて、「一釜の粥しかないの、あなたが多く取ったら私が食べられる量が少なくなる。嫁出去の女兒, 澆出去的水 (嫁に行った娘は撒いてしまった水) で、もうよその家に嫁いだのに、何でもまた実家に戻って食べ物を争うの?」)

2007/1/16 <http://nc.people.com.cn/GB/61161/5287612.html>

- 例(13) 廖斌感动的足, 妻子对他并没有多少埋怨, 每当在电话里说起愧疚的话, 妻子总是说, 嫁鸡随鸡嫁狗随狗吧。(廖斌が感動したのは、妻が彼のことを責めていないことである。毎回電話ですまないと云ったら、妻はいつも嫁鸡随鸡, 嫁狗随狗 (ニワトリに嫁したら、ニワトリに従え。犬に嫁したら、犬に従え) にしているよと言うのである。)
- (2007/4/23『瞭望東方周刊』)

- 例(14) 传统的男强女弱, 男主外、女主内的性别观念在农村根深蒂固, 不仅束缚了妇女群众的手脚, 而且也为妇女干部参加竞选、竞争制造了阻力和障碍。(男性が強く、女性が弱いや、男主外、女主内 (男は外、女は内)) などの伝統的性別観念は農村で根強く生き残っている。それは女性たちの行動が縛られただけでなく、女性幹部

の選挙や競争などにも障害をもたらしている。)

2007/8/7 <http://www.women.org.cn/allnews/0703/1465.html>

例(15) 女人嘛，没有几个是经得起老的，等到男同学好不容易熬到功成名就的那一天，昔日清纯无比靓丽无比的女同学，一个个都是徐娘半老人老珠黄了。(女性は、年をとることに耐えられる人はほとんどいない。男性のクラスメートがやっと功成り名遂げるようになったとき、かつてのきれいな女性のクラスメート達は皆、うば桜で人老珠黄(黄色い真珠)になっていた。)(2007/9/16『広州日報』)

「人老珠黄」とは反対の意味を表す「校花」からも同じことが窺えると思う。「校花」とは文字通り、「学校で最も美しい女子学生」であり、舶来語の「ミス・キャンパス」の中国語訳でもある。中国では、二十世紀のはじめごろ、北京大学で初めて女子大生を募集し、男女共学に率先垂範して道を開いた。それと同時に、「校花」も生まれた。公の場ではなく、同学の男子大生たちによって容姿を中心に点数をつけて選出されたそうである。現在も「校花」「系花(学部で最も美しい女子学生)」「班花(クラスでいちばんきれいな女子学生)」などのような呼称も時々聞くことがある。女性の才能、実力より顔、スタイルなどに注目し、最優先して評価されている事情を垣間見ることができる。従来、女性は花のような存在、飾り物として位置づけられている伝統とも繋がりがあがあると思う。これらの使用例は以下のようなものがある。ちなみに格好のいい男子学生のことを「校草」「系草」と呼んでいるようである。

例(16) 我和男朋友分别是当年大学里的“校花”和“校草”。作为男生阵营和女生阵营中的最优秀代表，我们很高调地谈起了恋爱。(私と彼は当時大学の「校花」と「校草」であり、男性陣営と女性陣営の最優秀の代表として、私達は公然と付き合うようになった。)

2007/10/8 <http://lady.tom.com/2007-10-18/008F/83325534.html>

例(17) 梅凭借着清纯的气息，甜美的笑容理所当然地坐上了金融系系花的宝座。(梅はその初々しさと甘く美しい笑顔で当然のように金融学部の系花の座についた。)(2007/9/3『海峡生活報』)

例(18) “校花” “班花”成为大家谈论的焦点，“学得好不如长得好”的观点在一些学生中大有市场。(「校花」、「班花」は皆の話題になっている。「勉強がよくできてきれいな顔には及ばない」という考え方は一部の学生の中でけっこう受け入れられている。)

2007/7/25 『河北日報』

例(19) 那时班花、校花之类的女生比较吸引我们男生的眼球，那些女生一般也是身体发育比较早的。(そのとき班花、校花のような女子学生に私たち男子学生の目が奪われていた。その女子学生は発育もふつう早いほうである。)

2007/7/25

<http://www.henannews.com.cn/newcnsnews/32/2007-10-12/news-32-49655.shtml>

4. 間接的な女性差別表現

上述2、3の部分の内容と違い、ことば表現自体は直接女性のことをマイナス的に形容していないが、それを通して、女性の尊厳や権利を脅かすことになっているものもある。

たとえば、女子大生の就職活動のばあい、しばしば次のような応募条件が示されることがある。それはなんと、求人広告に「只招男性(男性のみ募集。)」とはっきり書いてあるのだ⁽⁴⁾。例えば、次のような求人広告の実際例や女子学生が不利な扱いを受けたことに関する報道がしばしば見られる。

例(20) 在招聘会上，记者看到“限男性”，“仅招男性”、“男性优先”等字眼不时跳入视野，但是难得看到岗位要求写着“只招女性”的。(募集会では記者は「男性に限る」、「男性のみ募集」、「男性優先」などのようなことばをしばしば見たが、「女性のみ募集」という募集条件は見られなかった。)

2006/11/22

http://www.lm.gov.cn/gb/employment/2006-11/22/content_149709.htm

例(21) 晨报讯 “本岗位只招男性、身高要求1.65米以上、只限本地户口……”，形形色色的“就业歧视”在人才市场上并不鲜见。(朝の新聞によると、「本職場は男性のみ募集。しかも身長は1.65メートル

ル以上で、本地域の戸籍を持つ人に限られる。……」などのようなさまざまな「就職差別」は人材市場で珍しくない。）

2007/10/10新聞晨报

例(22) 因为拥有一技之长，理工科女生就业状况相对来说还是不错的。但是在找工作的时候，女生有时候会遇到“歧视”，这的确是客观存在。中科院进行的一项调查显示，应聘单位招收员工时偏爱男性，至少有93.8%的人认为遇到了性别区别对待，并有表面倾向。女科技工作者在应聘工作时，遇到最多的情况是“水平相当，应聘单位多选男性”，占43%；其次是“明文规定只招男性应聘者”，占24.3%；第三位是“对女性提出的附加条件较多”，占17.3%，再加上“高职位招男性，低职位招女性”的9.2%，这四种情况遇到的比例共占93.8%，说明目前科技领域的女性在应聘工作的时候受到的性别歧视是明显的，……。（技能を持つので、理工科系の女子大生はその就職状況が比較的よいのである。でも、就職活動のとき「差別」される場合もある。それは客観的事実である。中国科学院のある調査によると、職場の募集傾向としては男性の方が好ましいようである。93.8%の人達は性別による差別を受けたと思っており、しかも表面的傾向になっているそうである。女性科学技術者が求職のとき、最も多く出会った状況は「レベルが同じの場合、ふつう男性の方が選ばれる」というもので、それは43%を占めている。その次は「男性のみ募集という明文の規定がある」で、こちらは24.3%を占める。三番目は「女性に対する付加条件が多い」で、17.3%を占める。その他「高い職位は男性、低い職位は女性」が9.2%である。この四種類の差別的な状況を合わせると93.8%を占めることになる。現在科学技術領域の女性達が就職活動のとき差別されることが明らかになっているのである。……）

2007/3/15 <http://edu.people.com.cn/GB/5474267.html>

例(23) “我在求职时遇到很多单位只招男性或明确写着女性免谈，我们觉得很不公平。”今年的现场咨询多了不少年轻女性的身影，她们最想

维护的是自己的平等就业权利。从年轻女性的维权焦点可以看出，现在职场中的性别歧视确实存在且比较严重。有的企业虽然招收女性，但在年龄、相貌上还有特别要求，甚至列出几年内不许结婚、不能生育等苛刻条件。（「私が仕事を探しているとき、たくさんの職場で男性のみ募集あるいは女性のごめんなさいということばに出会った。私達は不公平だと思っている」今年の諮問現場に若い女性の姿が多く現れた。彼女たちがもっとも守ろうと考えているのは自分の平等な就職権利である。若い女性の権利維持の情熱から見れば現在の職場における差別が確かに存在している。しかも深刻な状態を呈している。一部の企業は女性を募集するが、年齢、顔などに関しては特別な要求が提出されている。また何年間以内に結婚してはいけないとか子供を生むことはできないとかのようなひどい条件が並べられている。）

2007/3/9 <http://www.022net.com/2007/3-9/426864192431643.html>

さらに、男女の定年退職の年齢については次のような規定があり、現実生活において実施されている。

例(24) 男年満60歳，女年満55歳应当退休。（男性は満60歳、女性は満55歳定年退職すべきである）

これは1993年中国国务院より公布され、『国家公務員暫行条例』第78番の規定である。この規定によると、女性は男性より5年も早めに職場を離れなければならないことになっている。明らかな男女不平等の一事例だと思われる。

5. むすび

実際のところでは、上述のような差別的表現は女性自身もあまり気づいていないのが現実である。例えば例(13)の「嫁鸡随鸡，嫁狗随狗（ニワトリに嫁したら、ニワトリに従え。犬に嫁したら、犬に従え。）」という発話をしている主体は女性である。また、「校花」「系花」「班花」などのような呼称は男

女問わずごく普通に使われていることも確かである。

社会の進歩と共に、男女平等の思想が世界中の人々に受け入れられ、良好な調和的社会環境が築かれていくようになると筆者は信じている。もちろん現段階では国々それぞれの事情があり、女性差別的現象もその程度は大なり小なりの差はあるにせよ、実際存在していることも否めない事実であろう。

そうではあっても、いや、そうだからこそ、そのような現象に対して、姑息な態度をとるのではなく、根本的に追究し、排除するために努力すべき義務が我々にはあるのだと思う。

とりわけ言語研究者としては人間生活ともしっかりと緊密な関係を持つことばの角度から女性差別的言語現象を明らかにし、その不合理な事実を指摘する責務がある。そのような積極的行動を通して、世間の人々に差別的言語事実を認識してもらい、共同注意を呼び起こすことができる。さらにそのようなことばを自ら使わず、また社会の人々にも使わないように働きかけることで、最終的には女性差別的言語現象が消えることになるのであろう。

本稿を通して、中国語における女性差別的表現の一端を明らかにでき、女性にとって不愉快な言語現象の消滅になるため少しでも役に立てば幸いだと思う。

もちろん、「女人頭髮長，見識短（女性は髪の毛が長く、見識に乏しい）」や「男主外，女主内（男女共にそのもっぱらつとめる分野がある。男子はつねに外にあり、女子はつねに内にいる、その別を明らかにすること。）」などのような明らかなマイナスの評価や古い観念の現れに対して、現代女性の反発、マスメディアなどの気づき、批判も次第に目立つようになってきている。何事も気づきから始まる。日本ではすでに「女＋〇〇」のような女冠詞の使用を避けるようになってきているが、中国でも「女強人」「女校長」などのような言い方の差別的意味合いについて広い範囲での社会的認識ができれば、だんだんと意識的に使われなくなると思う。

中国の女性は日本などよりも解放されていて、力を持っている人も多いと思われているが、現実には、就職差別などがかなり存在している。それはなぜかと言うと、おそらく女性を低く見る意識がまだ根強く残っているからで

あろう。そのような意識が以上に論じてきたようなことばに表れているし、ことばが残っているから、意識も変わっていかないのではないかと思う。女性差別用語の使用と差別意識の潜在との関係は不可分であり、その差別用語および差別意識への気づき、廃棄は21世紀を生きる人々の共通課題でもあると思う。

謝辞

本稿を執筆するに当たって、日本・文教大学教授遠藤織枝先生より貴重なコメントや該当分野の重要な参考文献などをいただき、心より感謝の意を申し上げます。また、初校の段階で、中国・北京大学教授徐昌華先生と日本・創価大学教授山岡政紀先生よりも有益なコメントや参考文献のご紹介をいただき、感謝申し上げます。

注

- (1) 括弧中の表記は日本語訳である。以下同じ。
- (2) この小説は1984年に刊行されたのでかなり古いが、最近「女社長」ということばが依然として使われている。例えば、次のような例がある。

新妻となったキャリア志向の女社長と、伝統を重んじるしゅうとめが価値観の違いから激突！ 江角マキコと野際陽子が壮絶なバトルを繰り広げるホームコメディ。

沢村一樹、伊東四朗らが共演。木 7月5日 地獄の沙汰もヨメ次第（第1回）

TBS系 夜9:00 http://www.asahi.com/culture/tv_radio/TKY200707010142.html

- (3) 遠藤(2006)では「女+〇〇」についての考察があり、p46には「これら『女+〇〇』の造語は現在では『女冠詞』とされ、避けられるようになっているものである」と書いてある。
- (4) 孟(2004:80)。なお、筆者は大学で勤めていて、大学生の方からよく男性が女性より就職しやすいというような話を聞いたことがある。

参考文献

- 遠藤織枝編(1992)『女性の呼び方大研究』三省堂
遠藤織枝(1997)『女のことばの文化史』学陽書房

遠藤織枝(1998)『気になります、この「ことば」』小学館

遠藤織枝(2006)「戦時中家庭雑誌の描く女性像」『ことば』27号 現代日本語研究会

Endo Orie(2006) *A Cultural History of Japanese Women's Language*:Center for Japanese
Studies The University of Michigan

真田信治・渋谷勝己・陣内正敬・杉戸清樹(1992)『社会言語学』おうふう

宋永培・端木黎明編著(1993)『中国文化語言学辞典』四川人民出版社

孫維張(1991)『漢語社会語言学』貴州人民出版社

大東文化大学中国語大辞典編纂室編(1999)『現代漢日辞海』北京大学出版社

陳建民・譚志明主編(1993)『語言与文化多学科研究』北京語言学院出版社

孟憲範主編(2004)『転型社会中的中国婦女』中国社会科学出版社

楊永林(2004)『社会語言学研究：功能・称谓・性別篇』上海外語教育出版社

(り きなん)